

都市再生整備計画 事後評価シート
勝瀬・ふじみ野地区

令和2年10月

埼玉県富士見市

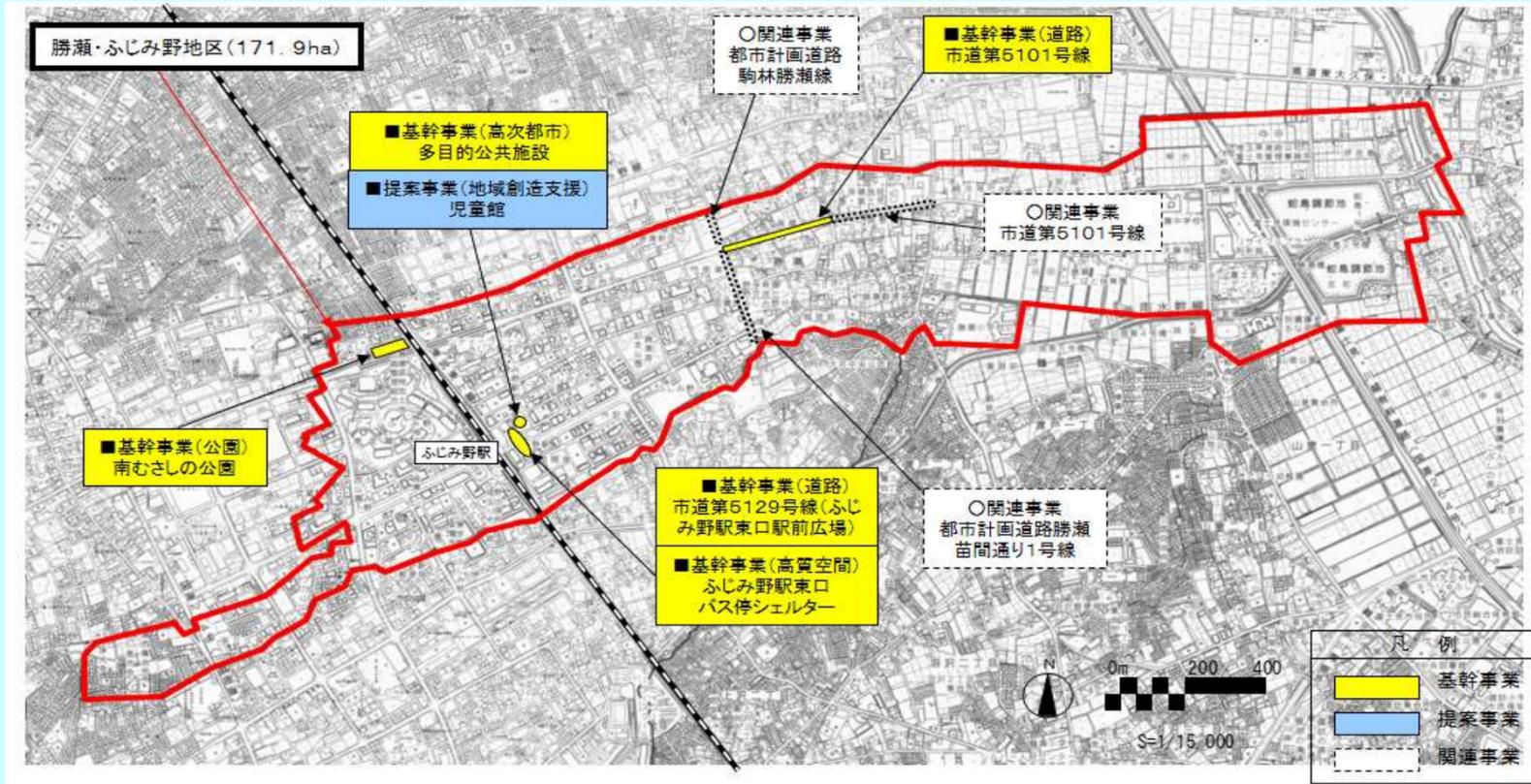
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県		市町村名	富士見市		地区名	勝瀬・ふじみ野地区			面積	171.9ha			
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	1,640.4百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	多目的公共施設(出張所、集会施設、食育室)、バス停シェルター(ふじみ野駅東口)、公園(南むさしの公園)、道路整備(市道第5101号線(新設)、市道第5129号線(ふじみ野駅東口駅前広場))											
		提案事業	多目的公共施設(児童館)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路整備(市道第5101号線)の一部	削除/追加の理由		新設部分(L=300m)を都市再生整備計画による整備(補助率40%)と拡幅部分(L=270m)を道路事業(補助率55%)による整備に変更						削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	なし	
		提案事業												
	新たに追加した事業	基幹事業												
		提案事業												
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	指標1	地区内住民のうち地域活動(防災訓練や清掃など)へ参加している人の割合	%	33.1	H24	35.0	H30	モニタリング	評価値	26.2	×	あり なし ●	公園の整備や多目的公共施設の新築により、一定程度地域コミュニティの推進に寄与したものと考えられるが、地域活動への参加までは繋がらず、目標を達成できなかった。	令和3年度
	指標2	市道第5101号線を通る1日あたりの車両台数	台	3,197	H23	3,800	H30			4,088	○	あり なし	地権者との交渉がまとまらず、市道第5101号線の全線開通には至らなかったものの、ふじみ野駅東口の整備や近隣の大型商業施設の開業により、1日あたりの車両台数は増加した。	工事終了後
	指標3											あり なし		
	指標4											あり なし		
	指標5											あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	その他の数値指標1	地区内住民のうち、当市に「ずっと住み続けたい」「当分の間は住み続けたい」人の割合	%	74.6	H24			モニタリング	評価値	82.2	○	あり なし	道路や公園の整備、多目的公共施設の整備により、勝瀬・ふじみ野地区の生活利便性向上し、住み続けたいと考える住民の割合が大幅に増加した。	令和3年度
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	なし													
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等									
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた											
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

勝瀬・ふじみ野地区(埼玉県富士見市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値		目標値		評価値		
		値	年	値	年	値	年	
大目標: 勝瀬・ふじみ野地区における安全で快適に住み続けられるまちづくり 目標1: 地域における交流拠点の整備による地域コミュニティの醸成 目標2: 道路ネットワークの強化	地区内住民のうち地域活動(防災訓練や清掃など)へ参加している人の割合	33.1	H24	35	H30	26.2	H30	
	市道第5101号線を通過する1日あたりの車両台数	3,197	H23	3,800	H30	4,088	R2	
	地区内住民のうち、当市に「ずっと住みたい」「当分の間は住みたい」人の割合	74.6	H24	-	-	82.2	H30	
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化	地域コミュニティの活性化に資する施設等の整備が進んだので、それを活かすために、ソフト面からの課題解決へのアプローチが求められる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	引き続き、整備が未完了の道路整備を進めるとともに、町会活動の活性化や自主防災組織の設立など、ソフト面からのアプローチを行うことで、指標の達成を目指す。